

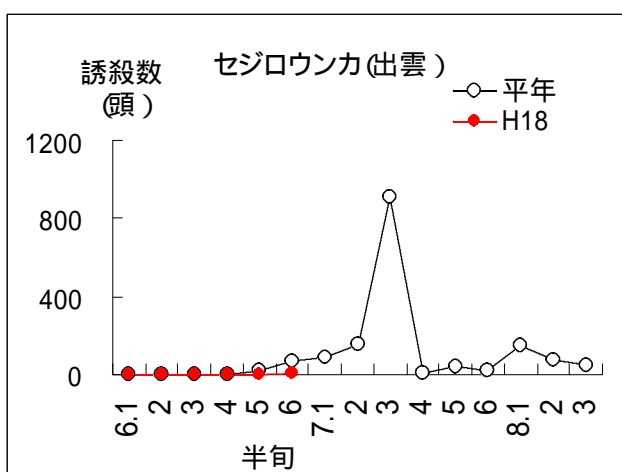
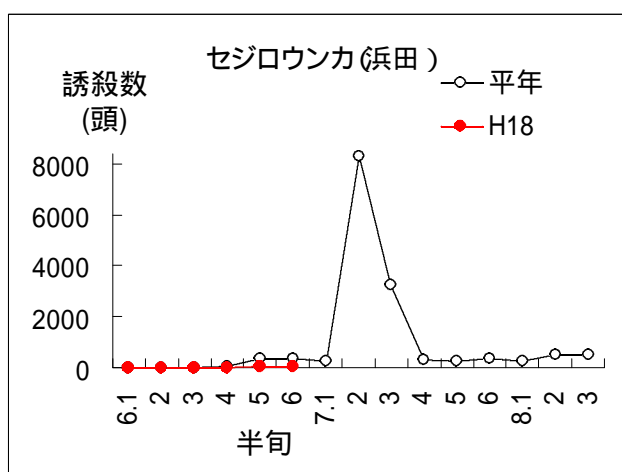
ウンカ情報

平成18年6月29日付

・セジロウンカの初飛来は、6月16日に浜田市の誘殺灯で確認しました。以降、少飛来が続きましたが、6月25日前後の梅雨前線によりまとまった飛来が確認されています。

6月下旬の払い落とし調査では0～0.7頭/株の生息密度です。この時期の飛来成虫要防除密度は5頭/株ですので、現状では防除の必要はありませんが、今後の飛来状況、圃場での発生に注意してください。

(参考) セジロウンカは飛来数日後から産卵を始めて、卵期間は約1週間、幼虫期間は約2週間、羽化後7～10日間産卵を続けます。今回の飛来群(6/25)を基準とすると、7月10日頃に圃場でセジロウンカ幼虫が確認できると思います。



・トビイロウンカは飛来を確認していません。今後の飛来状況に注意してください。

(参考) 例年セジロウンカと同時期に飛来があります。今年は6月中旬頃から福岡県、佐賀県などで飛来が確認され始めています。

防除対策

薬剤による防除は本県農作物病害虫雑草防除指針に基づき適切に行ってください。

次回のウンカ情報は、7月中旬に予定しています。